



# YMCA News

2018年7月10日発行  
 特定非営利活動法人  
 盛岡YMCA  
 〒020-0015  
 盛岡市本町通3-1-1  
 Tel 019-623-1575  
 Fax 019-623-1579  
 www.moriokaymca.org  
 発行人/濱塚 有史  
 編集/本部事務局



## 『3つの魅力』

小野寺百恵（盛岡YMCAリーダーOG）

こんにちは!つぶ貝です。盛岡大学に在学中、盛岡YMCAのキャンプに参加させていただいていました。今は、小学校の先生として、子どもたちと笑いあり涙ありのとても充実した毎日を過ごしています。今回は、私の体験をもとにYMCAのキャンプの魅力を紹介したいと思います。

魅力その1。スタッフとリーダーが、楽しいプログラムをたくさん用意しています。夏の自然の中で友達と思いっきり遊ぶことができ、今年の夏の思い出ができること間違いなしです。

魅力その2。キャンプを通して、新しい友達ができます。キャンプに行ってみたくても、勇気が出なくて迷っている子やリーダーも、きっと大丈夫。一緒にご飯を食べ、一緒に遊んでいるうちに不思議と友達になっている、キャンプには、そんな魔法の力があるなあと感じます。

魅力その3。新しい自分に出会うことができるかも...。キャンプの中に幾度となくチャレンジをしたり、一緒に過ごす仲間達と関わったりする中で、一回りも二回りも、自分を大きく成長させてくれるはずですよ。

3つの魅力を紹介しましたが、まだまだキャンプを語りつくせません。以前行ったキャンプを思い出した時胸が熱くなり、そしてまた何度でも行きたくなるのが盛岡YMCAのキャンプだと思います。

私もまた行きたい夏キャン!ぜひ、今年の夏キャンに飛び込んでみてはいかがでしょうか?



## 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

# 盛岡 YMCA 2018 ～サマーキャンプ～

盛岡 YMCA では昨年度 6 つのサマーキャンプが開催され、延べ 143 名の子どもたちにご参加頂きました。

今年もやってきたキャンプシーズン！今年度も 6 つのキャンプが開催されます。それぞれのリーダーたちの意気込み、そして今年はどうなキャンプになるのでしょうか！

## わんぱくキャンプ

こんにちは！わんぱくキャンプのメインリーダーを務めさせていただきます、岩手県立大学3年の岡田稜平です！リーダー名はみんなです！2018年盛岡YMCA夏のキャンプの開幕となるわんぱくキャンプでは、自然に恵まれた都南つどいの森で、みんなでおもいきり体を動かして遊んだり、自分たちでご飯を作ったり、テントで寝たり...と、これこそがまさにキャンプ！！といったことをしていきます。キャンプですので、普段の生活では当たり前となっているスマートフォンやゲームはもちろんありません。大自然でのびのびと、誰にも怒られることなく、子どもの本業である“体を動かして遊ぶ”といったことができる、普段の生活とは違った二日間を送ると思います。

もしかすると、今回の1泊2日のわんぱくキャンプが、はじめてお家の方と離れて過ごす新しい経験になるかもしれません。また、今までのキャンプに参加している子どもも、きっと新しい発見や魅力、楽しさを感じるキャンプであると思います。そういった新しい経験が、子どもにとってかけがえのない思い出となり、それが子ども自身の成長につながってくると考えています。私たちはそういった経験をする子どもたちと共に過ごし、一生の思い出を作っていきたいと思っています。最高の2日間のキャンプを、愉快的リーダー&スタッフとともに過ごしましょう！みんなの参加、待っているぞ!!!それではキャンプでお会いしましょう!!!



岩手県立大学3年  
岡田稜平(みんなリーダー)



## 森の大自然満喫キャンプ

最近暑くなってきましたね！夏ですね！夏と言えばキャンプ！キャンプと言えば森、、、ということで私、マックスから森の大自然満喫キャンプの紹介です！森キャンは7月28日(土)～29日(日)に外山森林公園で行われる1泊2日のキャンプです。外山森林公園は森に囲まれていて、その名の通り自然を満喫できる所です。キャンプの時期には虫捕りができます！運が良ければカブトムシなんかも捕まえられるかも！？他にもアスレチックや池があり、一生懸命歩くと、滝も見ることができます。そんな魅力がたくさん詰まった場所で、野外炊事をしたり、テントで寝たりして最高の思い出を全員で作らしましょう！

野外炊事は食材を切り、ちょうどいいサイズに薪を割り、火を起こし・・・すべてをグループのみんなで協力し、ご飯をつくる体験をします。そして、夜はナイトプログラムで仲を深め、テントでは寄り添いながら寝袋で寝ます。そんな、普段家ではできないこと体験を、その日会ったグループのお友だちやリーダーたちと、楽しみながら行います！この非日常を通して、ちょっと恥ずかしがったり、上手いかなかったり、時にはケンカをしたりしながらですが、互いを認めつながっていく、そんなキャンプになればと願っています。そして、子どもたちも、リーダーも、キャンプを通して、今まで気づかなかった新しい自分を、仲間と一緒に過ごすことで見つけ、ひとまわり大きく成長することを目指しています！そして、今年の夏のキャンプが一生の思い出に残る2日間をつくりましょう。みんなと一緒に最高のキャンプを過ごすことを楽しみにしています。



岩手大学3年  
東彩由海(マックスリーダー)



## サッカーキャンプ

私Gパンからは「サッカーキャンプ」について紹介させていただきます!サッカーキャンプは島のわくわくキャンプと並び、3泊4日のキャンプとなっております。

場所は紫波総合運動公園で、盛岡からも30分くらいでぴゅーんと行けてしまいます!今回から紫波総合運動公園での開催となった「サッカーキャンプ」。自分たちしか泊まっていない宿舎で初めて会う友だちと過ごす静かな夜。どんな話をして、どんな面白い友達に会えるのか。

サッカーキャンプなので、サッカーもちろん練習しますが、サッカー以外にも楽しいこと盛りだくさん!ナイトプログラムや2日目3日目に行われる予定のお楽しみイベント、そして、なんとといってもサッカーキャンプの常連の方はご存じの「岩手山カップ」!自分たちで作ったユニフォームを着て、自分たちで考えた作戦で、自分たちのサッカーをする!今年も熱い戦いが繰り広げられることでしょう。男の子・女の子関係なし!1年生・6年生関係なし!サッカー経験者・未経験者関係なし!

誰でも来ることができて、誰でも楽しんで帰ることができる3泊4日!強く・たくましく・頼もしくなっかっこのいい人間になりましょう!



盛岡YMCA  
向平悟(Gパンリーダー)

## 星空満点キャンプ

こんにちは!岩手大学2年の鈴木凜奈です!リーダー名はつくしです。星空満天キャンプは焼き走り国際交流村にて8/4~8/5で1泊2日のキャンプを行います。みんなでワイワイ楽しく遊んで、ご飯を一緒に食べ、たくさん楽しい時間を共有できるキャンプにしたいと思っています!

夜には、盛岡では見られない輝かしい星空を見て、素敵な思い出の1ページを刻みましょう!自分達でテントを張ったり、ご飯を作ったり、普段体験できないことを体験して、心身ともに成長できるキャンプです。テントが上手く建てられなくても、ご飯が少し失敗しても、みんなで笑って力を合わせれば問題なし!星だけではなく、虫を捕まえたり、水遊びをしたり、ドキドキワクワクできることがたくさんあります!長いようで短い一泊のキャンプでは楽しいことだけではなく、意見がぶつかったりすることもあります。

いろんな時間を共有し、様々な出来事を乗り越えることによって、初めて会った子も、もともと仲良しの子も、心の繋がりが深まること間違いなし!このキャンプのメンバーで、満天の星空に負けないくらいキラキラしたみんなの笑顔でいっぱい思い出を作りましょう!リーダーも子どもも一人一人が自分の一番輝いている瞬間が見つかるキャンプにしましょう!



岩手大学2年  
鈴木凜奈(つくしリーダー)

## 北上川大満足キャンプ

皆さんこんにちは!岩手県立大学総合政策学部4年の松平大知こと、ダイラーです。

今回私からは8月6日から8月8日に行われる「北上川大満足キャンプ」について紹介致します。今回の北上川大満足キャンプでは、花巻市にある平塚・花巻交流の森に行きます。県立の広域公園に隣接されたこのキャンプ場はまさに森!たくさんの樹木が生えており、森林浴ができる歩道も整備されています。場内には水辺もあり、キャンプ中は水辺探索も実施予定です。その他にもこのキャンプの目玉イベントは、キャンプ名の通り北上川での川下りです!ボードに乗り北上川を自分の力で漕いでみましょう!これ以外にも様々なプログラムや水遊びを企画しています。

雄大な緑に囲まれたキャンプ場!北上川を含む水辺での盛りだくさんのアクティビティ!これを聞いただけでもすごくだキドキワクワクしてきませんか?水遊びが思いっきり楽しめるのはこのキャンプに間違いなし!みなさんが来るのをリーダー一同心待ちにしています!  
「かかってこい!夏!!」



岩手県立大学4年  
松平大知(ダイラーリーダー)

## 島のわくわくキャンプ

こんにちは!チーズです。今年も暑い暑い夏がやってきますね。ということは、サマーキャンプのはじまりだー!!今年も盛岡YMCAでたくさんのキャンプがあります。

今回わたしから、その中の1つである、「島のわくわくキャンプ」の魅力をみなさんに伝えたいと思います。島キャンと言ったら、そう、海です!太陽がサンサン照り付ける中入る冷たい海は、最高以外言葉がありません。時々飲んでしまう海の水のしょっぱさも、砂浜のぼかぼかさも島のキャンプでしか味わえません。そのあと食べるご飯は少ししょっぱく感じるのも海のせいですかね。

そんな海尽くしのキャンプですが、それだけではありません。島キャンは3泊4日という他のキャンプに比べて長いキャンプです。でも実際に過ごす時、ものすごくあっという間です。その、あっという間に過ぎる時間の中で、子どもたちはたくさんのごとと向き合うと思います。それは私たちリーダーも同じです。初めて会うお友だちに緊張したり、初めてのことを経験したりと、この3泊4日のキャンプだからこそ子どもたちが何かを感じて得ることがきっとたくさんあると思います。何が起こるかかわからないこそわくわくするのがキャンプ!楽しいこともちょっといやだなと思ったことも全部ひっくるめて思い出に残るキャンプになったらいいなと思います。よろしく願いします!



盛岡大学4年  
小野寺保乃香(チーズリーダー)

「さとうきび畑」

ざわわ ざわわ ざわわ  
広い さとうきび畑は  
ざわわ ざわわ ざわわ  
風が通り抜けるだけ

「森山良子」で有名なこの歌は、実は僕の大好きな「ちあきなおみ」も歌っている。中学生の頃、NHKの番組「みんなの歌」で放映されていた。さとうきび畑の映像が淡々と流れる。間奏にたんぽぽ児童合唱団の歌声が入るのもまた、新鮮だった。

当時は、あまり歌詞を意識して聞いていなかったが、後からこんな歌詞があるのに気づいた。

あの日 鉄の雨にうたれ  
父は死んでいった  
夏の日差しの中で

沖縄での戦闘で戦死した、父親の顔を知らない少女が主人公の歌だったのだ。そして優しく歌う森山と異なってちあきは、以下にあげるラストの歌詞を凜とした調子で歌い上げるのである。

ざわわ ざわわ ざわわ  
風に涙はかわいても  
ざわわ ざわわ ざわわ  
この悲しみは消えない

今から20年以上の前のことだ。仙台YMCA国際ホテル専門学校で観光科の教務をしていた僕は、添乗研修旅行の引率で沖縄を訪れた。当時沖縄YMCAにも国際ホテル専門学校があり、学生同士の交流も一つの目的だった。沖縄Yの学生が企画したルートに従い、観光地を巡った。青い海、白い砂浜、沖縄に対して常夏の島ハワイのようなイメージを持っていた仙台Yの学生や僕は、ひめゆりの塔、摩文仁の丘、平和祈念公園を巡るうちに、だんだん、当初のイメージとは異なる思いを抱くようになっていった。

高校を卒業して1年目。YMCAの学生たちとちょうど同じ年齢のバスガイドさんの言葉が忘れられない。

「私たちは、小さい頃からずっと沖縄の戦争のことを聞かされ、平和について考えてきました。私はこのことを伝えたくてバスガイドになったんです」

1945年6月23日は、沖縄慰霊の日だ。沖縄の組織的戦争が終了した日だという。しかし、「まだ、心の中では沖縄戦が終わっていない」方々が今尚、多数おられる。

「平和を実現する人々は、幸いである、  
その人たちは神の子と呼ばれる。」

新約聖書 マタイによる福音書 5章9節

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

ネパールでしろくまも考えた 最終回

「ネパール地震」



2015年4月25日、マグニチュード7.8の大地震がネパールを襲いました。その被害は死傷者が2万人を超え、多くの歴史的な建造物も倒壊してしまいました。私たちがネパールを訪れたのは2017年の10月なので地震から2年半が経った頃です。人々の生活はだいたい元に戻っているようでしたが、倒壊した建物の瓦礫がいまだに山となっている場所も多く見られました。また、壁にひびが入っていたり、一部が崩れていたりするような建物をそのまま使っている人たちがたくさんいました。人々はなぜそんなところに住み続けるのか…。いえ、住むしかないのだと思いました。修理するための費用も労働力も不足しているのだと思います。基本的に家を建てるのは手作業で行うネパール。竹や木の柱で足場を組み、家を支えながらレンガを積んでいきます。それは地道な作業です。ガイドの方に話を聞くと、「政府は復興のために金も出さず、動いてくれない。だから皆自分たちでやるんだ。」と言っていました。

その結果、こんなに復興が遅れているのです。日本人一同は「こういう時の政府だろ!」と怒りをぶちまけていました。それと同時に、地道に働き続けるネパール人の強さを感じた場面でもありました。昔のようにきれいな街並みを取り戻すのはいつになるのでしょうか…。いつかまたネパールを訪れることができるように私も地道に頑張ろうと密かに誓った、結局スケールの小さい私の話でした。

さて、ネパールでしろくまも考えたシリーズは今回をもちまして終了となります。毎回どうまとめたら良いのかと悩みながら、ネパールの思い出を振り返ることが出来ました。今までありがとうございました。次はだれの企画が始まるのでしょうか。どうぞお楽しみに!

本町センター副センター長 家村知佳

表紙の写真から



「夏のキャンプに向けて、学生リーダーたちはトレーニングの真っ最中です。

写真は、リクリエーション指導の講義の様子。リーダー自身が楽しむこと、心を開くことで、そこからグループの空気も変化して行きます。」

感謝

②018年度6月30日現在 敬称略

●維持会員

熊谷大樹、工藤直子、今松桂子、熊谷太、吉崎陽、水田賢次、大関靖二、阿部深雪、光永尚生、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、名古屋恒彦、植田一茂、一戸貞文、高橋友恵、熊谷力實、尾形裕一郎、伊藤信彦、田村治之、川坂保宏、澤田優実、北田仁則、北田アユ子、古澤伸、武田理恵子、鶴丹谷三千代、高橋廉翔、人見晃弘、菊地弘生

●寄附金

今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、高橋友恵、熊谷力實、伊藤信彦、人見晃弘